



編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2159 FAX 028-623-2160



「日光の社寺」世界遺産に登録

●二社一寺の百三棟(国宝・重要文化財)を含む五十・八ヶが、文化遺産として登録

国内で十番目の登録



日光山全図(明治19年) 鮎瀬健一家文書(県立文書館 寄託)

日光の社寺

世界遺産登録によせて



栃木県知事

渡辺文雄

「日光の社寺」が、十二月四日、世界遺産に登録されました。世界遺産への登録はわが国で十番目であり、文化遺産としては東日本で初めてという記念すべき登録となりました。

日光の社寺の歴史的・芸術的価値や、自然と建造物が一体となった日本古来の文化的景観が、国際的な評価をいただいたことは、大変光栄であり、喜びにたえません。先人達の築いた偉業に改めて感動するとともに、それを守り引き継いできた人々への感謝の気持ちでいっぱい입니다。

また、これまで、登録実現のため尽力してこられた関係各位に深く敬意を表するとともに、県としてもこの遺産の保護、保全、さらには周辺地域の整備に一層の努力をしてみたいと考えております。

日光山は山岳信仰の聖地として約千二百年の歴史を有しており、先人達の努力により今日の我々に引き継がれてきたもので

す。世界遺産への登録は、人類共通の遺産としての国際的承認を意味していますので、いわば私たち二百万県民は、世界の人々から大切な宝物をお預かりしていることにもなります。

今回の世界遺産登録を契機に、身近にある貴重な文化や自然を改めて見直し、県民の皆さんが協力しあいながら、次の世代に伝えていくといった、保護意識の高まりを大いに期待しております。



日光 財産



●陽明門（東照宮 国宝）



●眠り猫

●三猿

東照宮 徳川家康の霊廟として創設されたのが始まり。三代将軍家光により造営された。本殿、石之間及び拝殿、正面及び背面唐門、陽明門、東西回廊の8棟が国宝、五重塔など34棟が重要文化財。社殿の建築にあたっては家康の意思が尊重され、多くの彫刻に平和への祈りが込められたと言われている。

日光の社寺が世界遺産へ

十二月二十九日から十二月四日まで、モロッコで開催された、ユネスコの第二十三回世界遺産委員会で、「日光の社寺」の世界遺産登録が決定されました。

世界遺産に登録されたのは、二荒山神社・東照宮・輪王寺を中心とする日光市山内地区の五十・八畝のエリアで、百三棟にもよる建造物が含まれています。また、このほかに周辺地域の三七三・二畝が、遺産保護を目的に設けられた緩衝地帯となっています。

山内地区は、古くから日光の山岳信仰の中心地として栄えました。



●五重塔（東照宮 重文）



日光連山を背景に高い水準の芸術的作品である建造物群が、杉の巨木が生い茂る自然環境と一体をなし、まさに聖域と呼ばれるにふさわしい独自の景観をつくりあげています。

登録された建造物群は、東照宮陽明門などに代表される九棟の国宝と九十四棟の重要文化財からなり、その多くは十七世紀の日本を代表する芸術家や技術者集団の手によるもので、後の霊廟建築や神社建築に大きな影響を与えたとされています。

また、このように多数の貴重な歴史的建造物が比較的狭い地域に集中している例は、世界でも稀だと言われています。

千二百年の歴史を秘めた聖地



●神橋（二荒山神社 重文）

二社一寺（二荒山神社・東照宮・輪王寺）は、一八六八年（明治元年）の神仏分離令によって分立するまでは、一体となって関東の一大霊場「日光山」を形成していました。

日光山の歴史は、八世紀末（奈良時代）に勝道上人が、男体山登頂のため草庵を結んだときに始まると言われています。登頂に成功した勝道上人は、寺院を建立し、日光山を開きました。日光山は、その後神仏習合の霊場として、神



●本殿（二荒山神社 重文）

二荒山神社 日光の山岳信仰の聖地として崇拝されてきた神社。九世紀半ばに移転された社殿、本宮の社殿、滝尾の三社をあわせて、日光三社と呼ばれた。本殿など23棟が重要文化財。

社と寺院の双方の性格をあわせもつことになりました。日光山は、山岳信仰の聖地として大いに発展しました。

戦国時代の末期には一時衰退したものの、江戸時代になって徳川家康を祀る東照宮、三代将軍家光を祀る大猷院霊廟が造営され、新たな繁栄のときを迎えます。江戸時代を通して、二荒山神社諸社殿、輪王寺の三仏堂などの造営をはじめ、堂社の修造・造営が盛んに行われました。

明治になると、政府の神仏分離令によって社寺が分離され、いくつかの堂塔が移動しました。また急激な近代化の波の中で、国内の文化財を軽視する風潮が生じ、日光の社寺も一時衰退しました。



●三仏堂（輪王寺 重文）

輪王寺 勝道上人が創設した四本竜寺が起源。家光の霊廟である大猷院が造営され、徳川幕府の保護を受けた。大猷院霊廟本殿、相之間、拝殿が国宝に、37件が重要文化財。

しかし、一八九七年に政府が「古社寺保存法」を制定して文化遺産の保護に乗り出すと、「日光社寺修繕事務所（現財日光社寺文化財



とちぎ教育振興大会開催

十一月十三日、宇都宮市文化会館で、第八回とちぎ教育振興大会が開催されました。

教育の普及の功績者や、標語等の入賞者表彰の後、お茶の水女子大学教授藤原正彦氏のユーモアたっぷりの講演が行われました。



●渡辺貞夫氏と県内200名の中学生による合同発表会

大会の最後には、中学生約二百名が参加し、マロニエ特使の渡辺貞夫氏の指導によるリズムスクールの合同発表会が行われました。会場中に響くドラムの音や、楽しそうに演奏する中学生の笑顔に、大きな拍手がわいていました。

◇問合せ 県生涯学習課
TEL 028-623-3408

国道二九三号 馬頭町 矢又工区全線開通

一般国道二九三号馬頭町矢又地区で道路改築事業が完了し、十一月四日、供用が開始されました。この地区は、道路幅が狭く、峠越えの急な坂道で、冬期は道路の



●急勾配を緩和するための高架橋

凍結などもあり危険な箇所となっていました。県では平成元年度から改築事業を進めるとともに、ドライバークレジット施設（ポケットパーク）などの整備も行いました。

◇問合せ 県道路建設課
TEL 028-623-2414

「栃木の塔」で平和の祈り

十月三十一日、沖縄県糸満市で、第三十四回県南方方面戦没者追悼式が行われました。この追悼式は第二次大戦でなくなった三万一千人余りの本県出身者を慰霊する「栃木の塔」で、毎年、県遺族連合会の主催で行われているものです。式には、遺族の代表者の方々や沖縄の県人会の方々も参列、県からは渡辺知事、郡司県議会議長が参列しました。

また、式典終了後、県青年の船の団員二百人余りも白い菊を献花し、平和の祈りを捧げました。

◇問合せ 県高齢対策課
TEL 028-623-3055

地球と人類の財産を未来に引き継ぐために

世界遺産

●世界遺産とは

世界の貴重な文化や自然を、国境を越えた人類の遺産として、国際協力により保護しようとするもの。1972年ユネスコ総会で、国際条約である「世界遺産条約」(正式名称「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」)が採択された。条約には、地球と人類の過去から引き継がれた私たちの財産を国際協力によって守り、次世代に伝えていくことがうたわれている。1999年10月現在158カ国が加盟。

世界遺産は、文化遺産、自然遺産、複合遺産に分けられる。

- 文化遺産** 文化的価値の高い記念工物、建造物、遺跡
万里の長城(中国) タージマハル(インド)など
- 自然遺産** 貴重な自然の地形や生物、景観などを含む地域
グランドキャニオン(米)、ガラパゴス諸島(エクアドル)など
- 複合遺産** 自然遺産、文化遺産の両方の要素を兼ね備えているもの
カッパドキア(トルコ)、ピレネー地方(フランス)

世界遺産には、平和や人道主義という価値から、人類の「負」の行為を記憶にとどめる「負の遺産」ともいうべきものがある。核兵器の恐ろしさを伝える「原爆ドーム」(日本)のほか、「アウシュビッツ強制収容所」(ポーランド)、奴隷貿易の基地であった「ゴレ島」(セネガル)などが登録されている。



●原爆ドーム

●日本の世界遺産

日本は1991年に条約締結国となり、これまでに文化遺産7件と自然遺産2件が登録されている。

- 文化遺産** ①法隆寺地域の仏教建造物(奈良県) ②姫路城(兵庫県)
③古都京都の文化財(京都府・滋賀県)
④白川郷・五箇山の合掌造り集落(富山県・岐阜県)
⑤原爆ドーム(広島県) ⑥厳島神社(広島県)
⑦古都奈良の文化財(奈良県)
- 自然遺産** ①屋久島(鹿児島県) ②白神山地(青森県・秋田県)

●ユネスコ(UNESCO)

「国際連合教育科学文化機関(United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization)」の頭文字を集めた略称。多大な犠牲者をだした大戦への反省にたち1945年創設。日本は、1951年に加盟。1999年現在、加盟国は182カ国。



●ユネスコ本部(パリ)
ユネスコ憲章前文「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かねばならない」
(写真提供：(社)日本ユネスコ協会連盟)

二荒山神社、東照宮、輪王寺の二社一寺

世界の共有



世界の遺産を守る

日光の社寺は、日光山千二百年の歴史の中で築かれ、先人達の手により、大切に守り引き継がれてきました。世界遺産への登録は、その価値が国際的に評価されたとともに、日光の社寺が世界の人の共通の



●大猷院(輪王寺 国宝)

「保存会」が組織され、社寺の修理を継続的に行うようになりました。その後日光の社寺は、文化財保護法に基づく文化財の指定を受け、現在に至るまで大切に守られてきました。



●日光杉並木

◆問合せ 県教育委員会文化財課
TEL 028-623-3424

財産になったことを意味します。私たち一人一人が、世界の財産を預かっているという認識と誇りを持ってこの貴重な文化遺産を保護し、未来へ引き継いでいくことが求められます。県では、世界遺産の恒久的な保護と地域活性化についての総合的な研究、協議の場として設けられる「世界文化遺産保護連絡会議(仮称)」に参加する等、今後とも保護に万全を期していくことにしています。

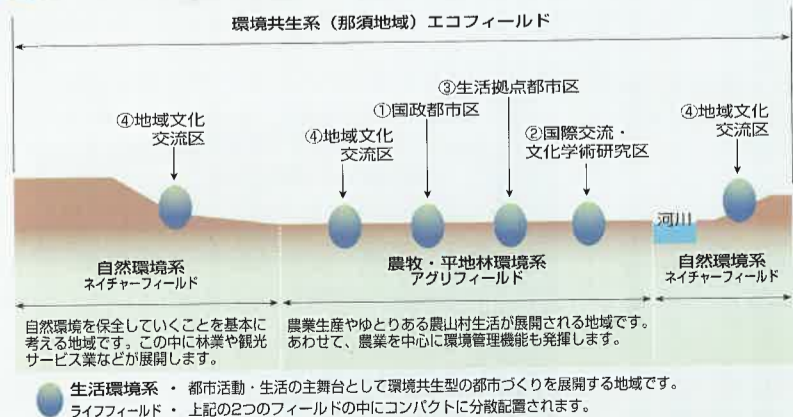
とちぎに国会を!!

●那須新首都構想紹介

「那須新首都」ってなんだろう? その2

今回は、「環境と共生する新都市“那須”」を実現するための考え方をご紹介します。環境と共生する新都市づくりを積極的に進めていくために、図で示した3つの地域分けを行い、それぞれのフィールドでその特性にあった土地利用計画のもとに都市づくりを行うことで、那須地域全域を舞台に「環境と共生する新都市“那須”」を実現していくことができると考えています。

■フィールドワークの展開イメージ



◆問合せ 県企画調整課 国会等移転対策室 TEL 028-623-2208



●戦没者慰霊塔で渡辺知事が献花

佐野自動車検査登録事務所開設

県内の自動車の増加に対応するため佐野市下羽田町に自動車検査登録事務所が開設され、十一月十五日、業務が開始されました。敷地には、県自動車税事務所佐野支所等もあわせて設置されました。管轄は県南地区の四市八町で、

東北自動車道 鹿沼～宇都宮間 全線六車線化

大谷パーキングエリアから宇都宮インターチェンジ間の下り線三、七kmの拡幅工事が完成し、十一月十四日、鹿沼宇都宮間は全線六車線化されました。



ここで交付されるナンバープレートは、「とちぎ」と表示されます。また、宇都宮市にある栃木陸運支局は、八市二十七町二村を管轄することになり、今後は、「栃木」に変わって「宇都宮」のナンバープレートが交付されます。
◇問合せ 県交通対策課
TEL 028-623-2187

マロニエ ガイト



花 歳 時 記

シクラメン (サクラソウ科)

冬の風物詩は地中海東部の沿岸地域が原産地。自生地では海辺の涼しい林床に群生し、やはり冬に花咲くそうです。鉢物を地植えにすれば、翌年また芽を出しますが、肥料を多めにやらないと長持ちはしません。

ワンテンゴポイント

本県は全国有数の生産県。主な生産地は今市市・真岡市・二宮町。ハウスの中をのぞいてみてはいかが。

カルチャー CULTURE

県立博物館

●テーマ展「古写経の世界」●12月18日(土)～1月30日(日)●講座「水墨画を楽しむ」●12月23日(木)●電話で普及資料課へ●体験学習「石ウスと火おこしに挑戦」●12月19日(日)●当日受付へ●博物館でやってみよう「十二単を着よう」●1月15日(土)●電話で普及資料課へ●映画会●12月19日(日)、1月9日(日)●当日会場へ●問合せ ☎028-634-1312

県立美術館

●企画展「地霊と旅人」所蔵品による全館陳列●1月8日(土)～3月20日(月)●今回の展示会は、企画展示室、常設展示室のすべての空間を用いて、8000点に及ぶ所蔵品の中から絵画、版画、写真、彫刻、工芸約200点を展示します●問合せ ☎028-621-3566



県子ども総合科学館

●第35回企画展「地球のひみつ」(写真)●1月16日(日)まで●地球のダイナミックな自然現象を映像を中心にした展示で紹介●造形スタジオ「ペーパージャングル」●1月16日(日)まで●紙を使ってペーパージャングルをつくって遊ぼう●問合せ ☎028-659-5555



県総合文化センター

●ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場オペラ「フィガロの結婚」●12月19日(日)午後4時～●とちぎ舞台芸術アカデミー音楽部門 ピアノコンクール入賞者演奏会と竹村浄子ピアノリサイタル●2月20日(日)午後2時～●要整理券●申込期間1月7日(金)～2月10日(木)必着●問合せ ☎028-643-1010



県政



催し

●緑の相談所の催し●中央公園(☎028-636-7621)●講座「クリスマスリースづくり」●12月19日(日)午前10時～●井頭公園(☎0285-82-4475)●小学生公園絵画入賞作品展●12月16日(木)～26日(日)●那須野が原公園(☎0287-36-1220)●那須野が原公園写真展●12月15日(水)～23日(木)●みかも山公園(☎0282-55-7733)●講座「ネイチャークラフト教室～生花で飾るお正月～」●12月19日(日)午前10時～

募集

●マロニエとちぎ緑花祭2000「花と緑の体験型催事」の講師募集

案内

●第17回全国都市緑化とちぎフェア「マロニエとちぎ緑花祭2000」(会期 平成12年9月9日～11月5日)では、みふ及びうつのみや両会場内で実施する「花と緑の体験型催事」(フラワーアレンジメント、押し花、ドライフラワー等)の講師を募集します●応募締切 平成12年1月31日(月)●応募方法等詳しいことは下記までお問い合わせください●問合せ 同フェア実行委員会事務局催事課☎028-623-3684

●求人企業合同面接会の開催●平成12年3月新規卒卒者対象の求人企業合同面接会を次の通り実施します●新規大卒者等対象●期日、会場 1月25日(火)、コンセール(宇都宮市)●新規高卒者対象●期日、会場 ①1月24日(月)、ウエディングプラザ鹿島(大田原市)②1月26日(水)、サンプラザ(栃木市)③1月27日(木)、マロニエプラザ(宇都宮市)●参加を希望される事業主の方は、早急に管轄のハローワークへお申し込みください●問合せ 最寄りのハローワーク又は県職業安定課☎028-623-3223

高齢者のための総合相談

●(財)県高齢者総合センターでは、お年寄りやその家族の皆さんの抱える悩み事や心配事などの相談に応じています●相談内容 よろず相談、介護相談等の一般相談及び医療・健康、痴呆、住宅、年金・保険、法律、税務等の専門相談●問合せ 同センター☎028-627-1122

平成11年工業統計調査及び石油等消費構造統計調査にご協力!

●調査日 12月31日現在 対象 全国の製造事業所●調査員が直接伺い、記入後の調査票を回収します。調査票の秘密は厳守されます●問合せ 県統計課☎028-623-2250

納税証明書が変わります

●入札参加資格申請など、県に提出する申請書に添付する納税証明書の様式が新たに設けられました●申請の際には、県税の納税証明書の他に、地方消費税(税務署)及び個人県民税(市町村)の納税証明書が必要となる場合があります●あなたの個人情報を保護するため、納税証明書の交付を受けようとするときは、必ず身分を証明するものを持参してください●問合せ 県税務課☎028-623-2108

年末年始の県提供番組とちぎテレビ

●とちぎ舞台芸術アカデミー音楽部門 読売日本交響楽団ワークショップ●12月29日(水)午後8時～9時●読売日響のメンバーを講師に迎えて開催された実技講習会と、講師・参加者合同の演奏会の模様を紹介します●新春知事対談～とちぎの魅力を語る～●1月1日(土)午前10時5分～10時35分●新春にふさわしく、知事が本県在住の女優高木美保さんととちぎの様々な魅力について対談します●世界遺産 日光の社寺●1月2日(日)午後8時～8時50分●問合せ 県広報課☎028-623-2190



高木美保さん

年末年始に向けた身の回りの準備項目

●安心して西暦2000年を迎えるために

「コンピュータ2000年問題」

年末年始に向けた準備

コンピュータ西暦2000年問題については、金融、エネルギー、情報通信、交通、医療といった影響の大きい重要な分野等において、官民を挙げて徹底した未然防止や危機管理等の対応が進められました。県では対策本部を設置し、保有するコンピュータを総点検。さらに危機管理計画を策定し、関係機関との連携・連絡体制の整備等を図るほか、年末年始には職員が待機しトラブルの発生に速やかに対処できるよう備えることとしています。

西暦2000年まで残すところあとわずか。新年を安心して迎えるため、万が一に備え県民の皆様一人一人が念のための準備を行うことは重要なことです。政府からも年末年始に向けた準備等について留意事項が発表されています。県民の皆様、自然災害等へ備える意味でも、この機会に飲料水や食料品等の備蓄や防災用品の再点検をお奨めします。詳しくは下記まで。



【2000年問題相談窓口】

栃木県情報管理課 ☎028-623-2220

●社会インフラ等のサービス状況、地域における問題の情報等の問合せ窓口です。年末年始も同番号へお問い合わせください。

● 食料、飲料水等の備蓄の点検をしましょう

普段から地震や風水害等への備えとして、2～3日分の食料、飲料水等の備蓄、救急箱、懐中電灯、ラジオ、乾電池等の準備をされていると思いますが、この機会にこれらを点検することをお奨めします。

● 預貯金の記録等をしておきましょう

日頃から記帳を行い預貯金残高等を記録しておくことは、的確な資産管理という観点からも有意義です。念のため記帳をしておきましょう。また、年末年始までに受け取る領収書等を保管し、来年1月以降に受け取る請求書等について誤りがないかチェックすることをお奨めします。

● 灯油等、適切な量を確保しておきましょう

灯油やガソリンは、年末年始の休暇の日数や気温等を考慮し、例年通り各ご家庭で備え付けのタンク等に適切な量を確保することをお奨めします。

● 医薬品の再点検をしましょう

家庭で利用する常備薬について、この機会に必要なものがあるか再点検することをお奨めします。医療についてのご相談は、かかりつけの医療機関にお問い合わせください。

● 身近な家電製品を確認しましょう

年号を含めて日付管理を行っているパソコン、FAX、電話機、携帯電話、ビデオデッキ等の一部では、日付表示のずれ等不具合が生じるものがあります。疑問の点があれば各メーカーのお客様窓口等へ確認することをお奨めします。

● 電話及びインターネットの利用について

2000年問題に起因して大きな問題が発生することはないと考えますが、何らかの理由で特定の地域に電話等の利用が集中

した場合、回線が込み合ってしまうことがあります。お急ぎでない用件等の通信・通話はできるだけ控えるようご協力をお願いします。

● 年末年始の海外旅行について

海外では、国によって2000年問題により不都合が生じる可能性があることも考えられます。出発前に、加入している海外旅行傷害保険が2000年問題に対応していることや旅行・滞在先の最新の情報を旅行会社等へ確認しておくことをお奨めします。

● 悪質商法・詐欺等にご注意ください

2000年問題に絡めて消費者の不安をあおり物品等を販売するなどの悪質商法や、コンピュータの誤作動等を口実とした各種詐欺的行為等が発生するのではないかと指摘がありますので、被害に遭わないように十分ご注意ください。なお、不審に思った場合は、最寄りの警察署や県消費生活センター(☎028-665-7744)等にご相談ください。

● コンピュータ・ウイルスにご注意ください

2000年問題を解決するプログラムを提供する等と称してコンピュータ・ウイルスを配布するなどの行為が既に発生しておりますので、被害に遭わないように十分ご注意ください。

● 中小企業における対応について

必要なデータのプリントアウト等によるバックアップの確保や、社内の緊急体制の整備など危機管理の対応について再度ご確認ください。

※本文については、政府の発表内容を抜粋して要約したものです。詳細は、首相官邸のホームページでご覧いただけます。

●<http://www.kantei.go.jp/jp/pc2000>